

資料1

前回会議の振り返りと  
計画案の修正について

## 議題2 計画（案）について



### 《各委員の意見》 全体を通しての意見

- 「今後の方向性」と「主な取組」の整合がとれていない。  
→ 整合がとれるよう修正しました。
- 「現状と課題」の内容が現状と合っていないところがある。  
→ 内容を見直しました。
- 統計データ（グラフ）の説明が合っていない。  
→ 修正しました。
- 指標の項目としている質問紙の内容が変更になっているので修正したほうが良い。  
→ 指標項目を変更しました。

## 《各委員の意見》 施策の方向1 確かな学力の育成



### (2) 学力向上に向けた基盤づくり

- 学校現場には、全国学力テストの分析内容を伝える際には、その教科だけではなく、例えば算数・数学と国語の相関や、影響している生活背景や就学援助率を含めた内容を意識して伝えたい。
- 指標の達成に向けて、学校現場・教育委員会・地域・家庭がそれに向かって取り組んでいけるような仕掛けや仕組みを作ることが課題である。
- 学力向上に向けては、保護者も現状を理解して学校と一緒に取り組んでいかないとけない。



今後の計画を推進していくにあたってのご意見とさせていただきます。

## 《各委員の意見》 施策の方向2 すべての子どもへの学習の支援



- 「オンライン授業を実施できる教職員数」の指標の目標が低いので、全教職員を目標にするなど指標の再検討が必要である。  
→指標項目を再検討し、変更しました。

## 《各委員の意見》 施策の方向3 豊かでたくましい人間性の育み



- 「キャリア教育指針」については、いかに実践していくかが学校現場の課題なので、作成することよりも実践することに重点を置いたほうが良い。  
→実践についての記載を追加します。
- キャリア教育を進めるにあたっては、子どもたちが頑張ってきたエピソードを蓄積して、色々な人が関わってその子のキャリアを考えるときの引き出しを蓄えておくためのノートとしてキャリアパスポートを活用できるとよい。  
→今後の運用の際のご意見とさせていただきます。
- 読書活動や食育の推進に関しては、司書教諭や栄養教職員が推進するだけでなく、学校での教育活動全体を通して取り組んでいくという方向性が必要である。  
→教育活動としての取組の記載を追加しました。
- 自尊感情、自己肯定感、自己有用感の表記の仕方に検討が必要である。  
→表記を変更しました。



## 《各委員の意見》 施策の方向5 教職員の子どもとの関わりの充実



- ハラスメントの相談窓口の設置となっているが、設置はされているので今後の相談しやすい体制の充実の方が必要である。  
→「設置」を「相談しやすい環境づくり」とし、取組内容を修正しました。

## 《各委員の意見》 施策の方向6 学校の組織力向上と開かれた学校づくり



- 「コミュニティ・スクールの推進」の記載内容が「学校内の組織運営」にとどまっているので、地域に開かれた学校づくりという観点で、コミュニティ・スクール自体の役割を記載したほうが良い。  
→コミュニティ・スクールの役割を追記しました。
- コミュニティ・スクールに関しては、地域と学校が本当に連携しながら進めていく仕組みを考える必要がある。  
→今後、取り組んでいくにあたってのご意見をさせていただきます。



## 《各委員の意見》 施策の方向7 安全・安心・快適な学びの場づくり

- 「チーム学校」で関わる関係機関は本当に忙しいが、いざというときに頼れるような体制を確保してほしい。  
→ 今後、取り組んでいくにあたってのご意見をさせていただきます。
- 「児童一人ひとりの課題に沿った支援」の部分を、コミュニティソーシャルワーカーも含めた地域とのつながりの中で包括的に考えていかないという点からも、全体的にこの項目の取組内容の記載を充実させたほうが良い。  
→ 全体的に取組内容の記載を追加しました。